

うめナビ

2013.8
Vol.17

「ガスで未来を創造する」 人に、町に、地球にやさしい 産業ガス専門商社

巴商会

巴商会(大田区蒲田本町、深尾定男社長、03・3734・1111、<http://www.tomoshokai.co.jp/>)は電化製品に欠かすことができない半導体をはじめ、自動車や食品、医療、環境、宇宙技術に至るあらゆる分野の製品に利用される「産業ガス」の専門商社であり、メーカーの系列に関係なく国内外から調達することで、お客様へさまざまな商品の提供を可能にしている。また、関連する設備の工事や運送・保安・管理まで一貫したサービスを行っている。

「産業ガス」というイメージしにくいのが、例えば携帯電話、タブレット端末、パソコン、テレビなどの液晶画面に、窒素、酸素などの高純度ガスや混合ガスのほか特殊材料ガスが広く使用されている。私たちの生活にも身近なものとして、ビールなどには炭酸ガス、お菓子やパンの袋には品質保持の封入ガスが使用されている。

また、同社では、産業用ガスだけでなく、メディカルサービス部では酸素や液体窒素、滅菌ガスなどの医療ガスを手がけ、少子高齢化社会の中でますます必要性が高まる在宅医療に力を入れている。その中で、約8割を占めるのが在宅酸



呑川水質浄化実験を行った高濃度酸素溶解装置



野鳥公園でのボランティア活動

素療法である。病気が原因で十分な酸素を取り込めない患者さんのために、病院を通じて携帯用酸素ボンベや家庭で使用できる酸素濃縮装置のレンタルを行っている。

地域と連携したお客様のケアという点では、地元のボランティア活動や清掃活動に積極的であることも特色だ。環境保全活動にも取り組む、酸素の力を利用して大田区を流れる呑川の浄化実験を実施した。下流から取水し、高濃度酸素溶解装置を通してできた高濃度酸素水を上流から川底に放流。酸素を多く含んだ水の層が下流へ広がることを確認され、悪臭の原因となる硫化水素の発生を抑え、水質を改善するための有効なデータを取得した。薬品を使わず、「お客様のためにやることをする」という理念どおり、人にやさしい酸素で私たちの町を守っている。

明治から守り受け継いできた 計器製造技術の粋 精確無比な「基準温度計」

東亜計器製作所

東亜計器製作所(大田区南雪谷、横山守二社長、03・3720・5141)は、明治37年の創業当時より、ガラス温度計・ガラス比重計・基準温度計・体温計・基準比重計などの「計る『基準』」をつくらせている計器製造の老舗である。

同社の主力製品は、温度の基準となる精密な温度計「基準温度計」である。この「基準温度計」に基づいて一般的な温度計をつくらせることが計量法で定められており、デジタル表示の温度計なども全て「基準温度計」の表示を基に調整されている。日本国内においては、同社が「基準温度計」のシェアほとんど全てを占めている。

また、マイナス100℃から650℃まで計れる温度計や99℃から101℃の僅か2℃の間を精密に計る温度計、さらには曲がった温度計など用途を特化した温度計を各種製造しており、これだけ特殊な製品は、「ハンドメイド」でしかつくることができない。

例えば、「基準温度計」は、まず容器のガラスを鍛錬するところか



横山守二社長



温度計製造中

ら始め、外気温などの環境変化でも内部の水銀メモリには影響が出ないような、誤差を極力抑えた商品として完成するまで6ヵ月かかる。独立行政法人産業技術総合研究所から取得した誤差0.05℃以内であるという基準器検査成績書は、その精確さの証明である。

同社には、温度計などの製造に長年携わり、現在も創業当時の技術をそのまま守り続けているベテランの職人陣だけでなく、社内にて育成してきた若手技術者も揃っており、技術の継承を大切にしている。こうした人材の充実によって、長年ご愛顧いただいているお客様のご要望やメンテナンスにお応えする体制が整い、お客様のニーズに合わせた製品とサービスを随時お届けすることができます。詳細ご質問、ご相談はお気軽にお問い合わせください。(www.toakeiki.jp)

うめナビ
送付先業種



商社
12先



スーパー・小売・百貨店
24先



メーカー
18先



マスコミ
58先



教育(大学・専門学校)
30先



公共機関
15先



ホテル
14先



金融
32先



建設関連
20先



システム関連
11先



その他
73先

合計
307先

※本誌は、城南信用金庫のお取引先に配布する他、商社、百貨店、スーパー、メーカー、マスコミ、大学等にもお届けしています。

スペインと日本の架け橋を目指して「Teconmie」の魅力を日本中に発信

グランジャポン

グランジャポン(横浜市青葉区あざみ野南、星野マチ子社長、045・910・0108)は、星野社長がスペイン留学時代にスーパーマーケットで偶然出会い、はちみつのような甘い香りに衝撃を受けた紅茶「Teconmie」を日本に広めるために設立し、現在は、「Teconmie」だけでなく、スペインでつくられたパエリアやオリブオイル等の商品を中心に取扱う卸売業者である。



取扱っている商品

創業当時は、日本とスペインの考え方やライフスタイルの違いに苦労することも多かったが、「相手の立場に立つて物事を考えること」を重視して、さまざまな取組みを行ってきた結果、今では地域にスペインの最新情報と魅力を届ける重要な存在になりつつある。

また、最近では、地域の方々に新たなコミュニティの場を提供したいとの思いからカルチャーサロンをスタートさせ、講座やイベント



が好評を得ており、その中でも、主婦の方々が自らつくった雑貨やお菓子を販売するイベントは特に人気がある。「今後もさまざまなイベントを通じて地域の人たちを結び機会を提供し、地域とのつながりを深めていきたい」と語る星野社長。

同社は、今まで培ってきたノウハウと、スペインのことなら何を聞かれても答えられると胸を張る星野社長のネットワークを活用しながら、スペインと日本の企業をつなぐ架け橋となっていきたいと考えている。

同社の商品は、ホームページでの通信販売で購入できるのももちろん、輸入生活雑貨を中心に販売している「PLAZA」でも取扱っている。興味のある方は是非一度購入してみたいかが。

詳しくはホームページにて
(<http://granjapon.co.jp/>)

年間施工実績8000件以上！信頼の技術とサービスで内装工事はお任せあれ

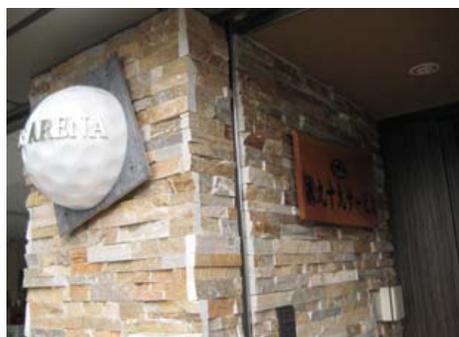
九十九サービス



九十九サービス(世田谷区宮坂、丸山勝海社長、03・5477・5991)は、内装工事・ビル管理・シミュレーションゴルフ店経営を主に手がけている。

常に顧客満足度の高いサービスを提供するため、現場施工者への教育を徹底している点が特色だ。

現場施工者になるためには、同社が独自に設定した施工技術者初級(23項目)をクリアすることが必要で、中級、上級まで用意されている。社外資格取得への援助も積極的である。このため、例えばその場で施工を完了させられるかどうか担当者が臨機応変に状況を判断でき、見積り現場管理と完成引渡しアフターメンテナンスまで一括して対応可能だ。お客様の要望に合わせてさまざまな提案を行い、平成24年度の内装施工実績は8000件を超えていることが、同社の高品質なサービスを証明しているといえよう。



自社ビルももちろん同社の手がけた内装。アーリーナのゴルフボールをデザイン

同社のもう一つの特徴は、本社地下にシミュレーションゴルフ場として「ゴルフアーリーナ経営(03・5477・5988)(<http://arena-kyodo.com/>)」を運営している点だ。もちろん内装工事は同社が手がけ、女性も足を運びやすいおしゃれで落ち着いた空間になっており、施工技術の高さが窺える。仕事が忙しくゴルフ場まで出かける時間のない方や、ゴルフ場の利用料は高いのであまり頻繁に行けない方でも、シミュレーションゴルフ場であれば短時間でプレーをリーズナブルな料金設定で、気軽に通うことができる。近隣の方に会場だけの貸出も行っており、地域のコミュニティサロンとしての機能も併せ持っている。

また、同社では、現場施工者が中心となって硬式野球チームを運営しており、地下を練習室として利用。都市対抗野球に参加し実績を上げており、練習相手および選手登録募集も行っており、地元を盛り上げている。

よるこび、かんどろ、おもいやり、人から人へ、想いをつなげる地域福祉の環

グリーンネット

近年、都心部を中心とした核家族化や、老々介護、共働き等により地域社会における交流の希薄化が社会問題となっている。

グリーンネット(横浜市旭区本宿町、鈴木敏男社長、045・363・5580)が、平成22年11月に開所した「ホームケアコラーージュ」では、開所以来地元に着した訪問介護施設を運営してきた。さらに昨年4月、相鉄線二俣川駅近くに市認可保育園「横濱あんじゅ保育園」と小規模多機能型居宅介護事業所「コラーージュ二俣川」を開設。他では例を見ない保育と高齢者介護の併設型施設が誕生した。乳幼児と高齢者との交流が、絆の断絶した各種社会問題の解消につながる」と鈴木社長は考

える。「コラーージュ二俣川」は、いつまでも自宅暮らしを続けたいという高齢者の想いを叶えるために訪問介護(ホームケア)や通所介護(デイサービス)、短期入所生活介護(ショートステイ)を同じスタッフが行うことで、利用者の生活を年中無休でサポートする施設である。その他にも利用期間の長短や、急なショートステイにも対応する等、自宅でのライフスタイルを崩すことなくやりたい

ことを実現できるよう利用者やその家族の希望に沿ったプランづくりが可能である。また、音楽教師による生演奏での合唱を週2回行う等、年間を通してイベントが盛りだくさんで、何より保育園児との交流機会が多いことが、利用されている方々から好評をいただいている点である。

詳しくはホームページへ
(<http://www.greenet-group.jp/>)



グリーンネットを支える職員

スポーツが大好きな人たちに朗報！ 「アンドウメンバーズ カード」でお得に買い物

安藤スポーツ



安藤スポーツ

安藤スポーツ(横浜市保土ヶ谷区星川、安藤完司社長、045・3312461)は、昭和23年に、相鉄線天王町駅近くの商店街で創業。現在は、相鉄本線の星川駅近くに店舗を構え、「ただスポーツ用品を売るのはなく、お客様に喜んでいただけるような良い商品を売る」という創業者の理念のもと、地域に根ざしたスポーツ店を目指して営業を行っている。



店内の様子

また、現金で買い物をした際、購入金額の8%相当のポイントがつき、1ポイント1円から使用することができたり、特別セールのお知らせが届くなどの特典がついた「アンドウメンバーズカード」も好評だ。

今後同社では、スポーツ用品の販売だけでなく、「かるがもマラソン」や「芝生ふれあいサッカー教室」などの地域イベントへの協賛を通じて、地域にコミュニティケーションの場をつくり、青少年の健全な育成や、地域の方々の健康増進のお役に立っていきたくと考えている。

「お客様に喜んでいただくサービスを提供することで、地域のお客様に愛され、それが社員たちのやりがいとなる。地域で暮らす一人でも多くの方々に喜びや幸せを感じていただけるように、今後もさまざまなことにチャレンジしていきたい」と安藤社長は語る。

安藤スポーツ

カレーとフレンチ、 2大看板を持つ レストランAtzou

Atzou

Atzou(アツウ)(目黒区柿の木坂、齋藤豊記シェフ、03・6421・1095)は、平成23年8月にオープンした、東急東横線都立大駅から徒歩2分の好立地にあるレストランである。

齋藤シェフは、料理の世界に飛び込んでからフランス料理に魅せられ、ヨーロッパ各地で腕を磨くこと5年。平成17年には、当時働いていたロンドンの名店「ル・ガブロッッシュ」で、エリザベス女王主催の晩餐会の料理担当チームに選ばれたこともある実力の持ち主である。



フレンチのコースメニュー

フレンチをベースにしながらも、店内のメニューにはジャンルにとらわれない齋藤シェフの個性や発想にあふれた料理が並び、一つひとつ全て丁寧な技と愛情を込めて手作りされていて、一度味わうとどれも忘れられない。

そんな齋藤シェフが惚れ込んで復活させ、同店の看板メニューになっているのが、「ぐりむ館カレー」である。「ぐりむ館」とは、30年程前に駒場東大前で奥様の



復活!「ぐりむ館カレー」

復活!「ぐりむ館カレー」
(<http://atzou.me>)

両親が営んでいたカレーの店。じっくり煮込んでスープのように見えるこのカレー、深みとコクをシェフが忠実に受け継ぎ再現した。当時の

東大生等今もなお根強いファンが多く、わざわざ遠方から足を運ぶお客様も少なくない。

また、今年5月より「目黒八雲むしばん」とコラボを実現し「ゴロゴロおじゃがカレーむしばん」を売り出し、地元を盛り上げている。

現在、ランチ(水〜土11:30〜14:00)はカレー店、ディナー(月〜土18:00〜23:00)はカレーシリーズの他にアラカルト(500円〜)や魚・肉のメインディッシュを気軽に楽しめるピストロとして営業しているが、ご希望に応じてパーティメニューやコース料理も予約可。普段はアラカルト料理をワインと一緒に楽しみ、記念日にはシェフオリジナルコースを堪能する常連客が数多くいるのは、そこに本物の味があらからだろう。

詳しくはホームページにて

最先端の振動解析システムで日本のモノづくりを支える あらゆる振動問題を 解析し続ける先端企業

システムプラス



同社の振動解析システム



木戸 隆社長

システムプラス(横浜市都筑区茅ヶ崎東、木戸隆社長、045・9417057)は、昭和62年の創業以来、CAD・CAM・CAEシステムの開発販売や、世界各国のソフトウェアを採用した振動解析システムの開発販売を主業としており、その中でも、自動車、電機、機械等の構造物に関わる分野の振動測定・解析システムを得意としている。

同社の木戸協社長は、以前勤務していたシャープ中央研究所で新商品の開発に携わっていた際に、たびたび振動によって商品が故障してしまう問題に直面したことがある。何度もこのような経験を繰り返すうちに、「振動の問題を解決するシステムを開発して社会に貢献していきたい」と思い同社を設立した。現在では、学生時代から振動解析システムを研究していた数名の社員と協力しながら、より良い

製品の開発を目指し、日々取り組んでいる。

最近では、これまで培ってきたノウハウを活かして、医薬品等の化学構造解析分野に応用させた、NMR(核磁気共鳴)の解析ソフトウェア「Mnova」や卓上NMRハードウェア「picospin」の取扱いも開始した。特に「picospin」は、従来のNMR装置に必要だった大きな設置スペースや高額な初期投資、年間の維持費を必要としない画期的な製品であり、大手製薬会社を中心に問い合わせが殺到している。

「今後も当社は、低価格でありながら、高品質な製品を社会に提供し、日本のモノづくりを支えていきたい」と語る木戸協社長。

上場企業や大学等からも高い評価を得ている同社に興味をお持ちの方は是非ホームページを!
(<http://systemplus.co.jp/>)

世界にひとつのマイ提灯！ 保安用資機材製造で培った 技術力を活かす

昭和28年3月に設立、今年60周年を迎えるノーベル工業(品川区大崎、志賀康弘社長、03・3492・0551)は、主に警察機動隊の装備品を手がける保安用資機材の製造販売会社である。特に、特殊警棒は昭和30年に製作、昭和37年には警察官警棒と指定されて大きなシェアを占め、今日まで永きに亘って使用されている。

警棒以外に今力を入れている製品が、今回紹介する「提灯」である。提灯の「提」は手にさげるといいう意味で、いわば昔の懐中電灯だ。時代劇等から、蠟燭を点して持ち歩く和紙でできた籠をイメージされる方も多いかもしれない。

しかし、同社の提灯は、耐久性に優れたポリプロピレンという樹脂を用い、10年以上使用することも可能である。昔はひとつずつ手作りしていたが、現在は、プロ成型という吹きガラスと似た原理での機械製。大きなロットでの受注も受け付ける。内部の灯りには豆電球を使用し(大高張提灯は蛍光灯



特製、信ちゃん提灯！

も取付可能)、単一乾電池で点灯することができ、スイッチをONにすると、提灯特有の優しい灯りが辺りを照らし出す。提灯の大きさは、一番小さな手持ち式の提灯で高さ33cm(灯体部分20cm)、竿等に装着可能な高張提灯は高さ39cm(灯体部分30cm)、一番大きな大高張提灯になると、高さ66cm(灯体部分58cm)あり、かなりの迫力と存在感だ。因みに、現在手持ち式の提灯と高張提灯に関してはLED照明を用いた製品を開発中。近日、販売開始予定である。提灯の灯体には、文字や防犯等のマークだけではなく、オリジナルイラスト等を載せて(要問合せ)、世界にひとつだけのマイ提灯を製造することも可能である(今回、信用金庫のキャラクターである信ちゃん提灯を製作していた)。



同社のLED照明「Brighton」

これからのシーズン、防犯や防災用はもちろん、夏祭り等イベント用には、あるいは部屋を和風に演出するお洒落なインテリアとして、同社の提灯をおひとついかがだろうか。



志賀康弘社長

ノーベル工業

LED照明、スマホ非接触充電器… 移り変わる時代のニーズに 対応した商品を

橘工業(中央区日本橋茅場町、橘剛彦社長、03・3668・7771)は、明治28年に各種パッキングの製造販売および産業資材の総合商社として創業した。その後、機械、機器、プラント部門および海外貿易部門を創設し、今日まで100余年の実績を活かして、常に市場のニーズに対応するよう努めながら商品を提供し続けている総合商社である。

最近ではエレクトロニクス分野にも参入し、特にLED照明の製造・販売に力を入れている。「東日本大震災に伴い、今まで過剰に使用していた電力を少しでも節電する必要が出てきました。節電の手段として、各分野で急速に広まっているLED照明の使用に着目し、まず本社ビルでのLED化を推進すると同時に、LED製品の開発を進め現在の製品化に至っています」と社長は話す。



ライティング・ジャパン2013に出展

橘工業

同社のLED照明「Brighton」の特徴として、①「約40%の消費電力削減」、②「現状の器具からの変更が簡単」、③「5年以上の長寿命製品」、高品質」を

上の3点が挙げられる。寿命を決定する電源部は、日本メーカーのコンデンサーを採用することにより、高照度、高信頼性、低消費電力の製品開発に成功した。今年1月には、東京ビッグサイトで行われたライティング・ジャパン2013にも参加し、同社の製品が周知されつつある。

また、新製品として、非接触充電器を現在開発中とのこと。本製品は、本体の電源コードなしであるという画期的なもので、まずはスマートフォン等のモバイル分野で利用可能な製品化を進めており、本年度中の量産開始をめざしている。詳しくは、ホームページにて(<http://www.tachibana-kogyo.co.jp/>)

ゴキブリ等の害虫にお困りの方、是非一度相談を！ サンユーマックは 清潔な環境をご提供します

サンユーマック(相模原市緑区二本松、太田有輔社長、042・772・6895)は、平成14年の設立以来、長年個人事業として営んできた経験を活かして、「安心できる料金設定と、安全性の高い技術力で長期間駆除効果を持続させる」ことをモットーに、個人住宅や飲食店、工場等のさまざまな場所で害虫駆除を行っている。

同社は、「企業向け害虫駆除業務のプロフェッショナル」として、高度な技術が必要とされ、業界の中でも使いこなせる業者が少ないと言われているベイト剤を用いて害虫駆除を行い、その後も、定期的なアフターフォローを行うっており、近年クローズアップされている食品の安全性とも相まって各方面から注目を集めている。

同社では、使用する薬品や設備にこだわるのはもちろんのこと、作業工程も長年のノウハウを活かして工夫されている。例えば、ゴキブリを駆除する際、まず、現場を徹底的に調査して害虫の侵入経路を確認する。その後、薬剤の効果が長続きするようにきれいに清掃を行い、ゴキブリの駆除を行う。また、ゴキブリよりも小さいハエ等は、発生源の特定が困難なため、初期段階で適切な対応を行っており、こうした一つひとつのこだわりからも「害虫でお困りのお客様に安心していただきたく」の強い思いが伝わってくる。



ネズミ駆除の様子



ゴキブリ駆除の様子

「害虫等の被害によって、万が一の事故が起きれば、社会的に信頼を失ってしまうことになる。地域からそうしたお客様を出さないように、今後も取組んでいきたい」と語る太田社長。害虫駆除に関することは同社にお任せ！まずは、ご相談をお待ちしております。詳しくはホームページにて(<http://www.3you-mac.com/>)

サンユーマック